

栃木県減災対策協議会

令和4(2022)年度の取組状況

1) ハード対策の主な取組

■洪水を河川内で安全に流す対策

○具体的な取組

再度災害防止対策(改良復旧・堆積土除去等)

【具体事例】

○河川の流下能力を確保するため、堆積土除去工事や樹木伐採を実施

栃木県

○一級河川 袋川 (足利市)



工事前



工事後



○一級河川 五行川 (高根沢町)



工事前



工事後



1) ハード対策の主な取組

■危機管理型ハード対策

○具体的な取組

堤防強化(堤防天端の保護、巻堤、堤防腹付等)

【具体事例】

○減災対策として、粘り強い堤防の整備(腹付・巻堤)を実施

栃木県

○一級河川 田川 (上三川町)



工事前



工事後

堤防裏法面への
腹付盛土

○一級河川 巴波川 (小山市)



巻堤の実施

1) ハード対策の主な取組(ソフト対策にも該当)

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備

【具体事例】

○キキクル(危険度分布)「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

宇都宮地方気象台

キキクル(危険度分布)に警戒レベル5相当の「災害切迫」(黒)を新設するとともに、警戒レベル4相当を「危険」(紫)に統合することで、より分かりやすく危険度を伝えることができるように実施。



1)ハード対策の主な取組(ソフト対策にも該当)

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備

【具体事例】

○大雨特別警報(浸水害)の指標の改善

宇都宮地方気象台

災害発生との結びつきが強いキキクル(危険度分布)の技術を用いることで、災害が発生・切迫している警戒レベル5相当の状況に一層適合した大雨特別警報(浸水害)に改善。

<改善前の課題>

大雨特別警報(浸水害)を発表したが多大な被害までは生じなかった事例が多くみられる(例:平成26年8月の三重県の大雨事例、平成26年9月の北海道の大雨事例、平成29年7月の島根県の大雨事例)。

また、多大な被害が発生したにも関わらず、大雨特別警報(浸水害)の発表に至らなかった事例もみられる。



特別警報の 指標に用いる 基準値	大規模な浸水害を高い確度で適中させるよう指標、基準値を設定	
	中小河川氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように流域雨量指数の指標、基準値を設定	内水氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように表面雨量指数の指標、基準値を設定

洪水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。

浸水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。



- ✓ 大雨特別警報(浸水害)の対象地域を大幅に絞り込んだ発表が見込まれる。
- ✓ 島しょ部など狭い地域への発表も可能となる。
- ✓ 警戒レベル5相当の情報としての信頼度を高め、住民や自治体等の防災対応を強力に支援。

1) ハード対策の主な取組(ソフト対策にも該当)

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

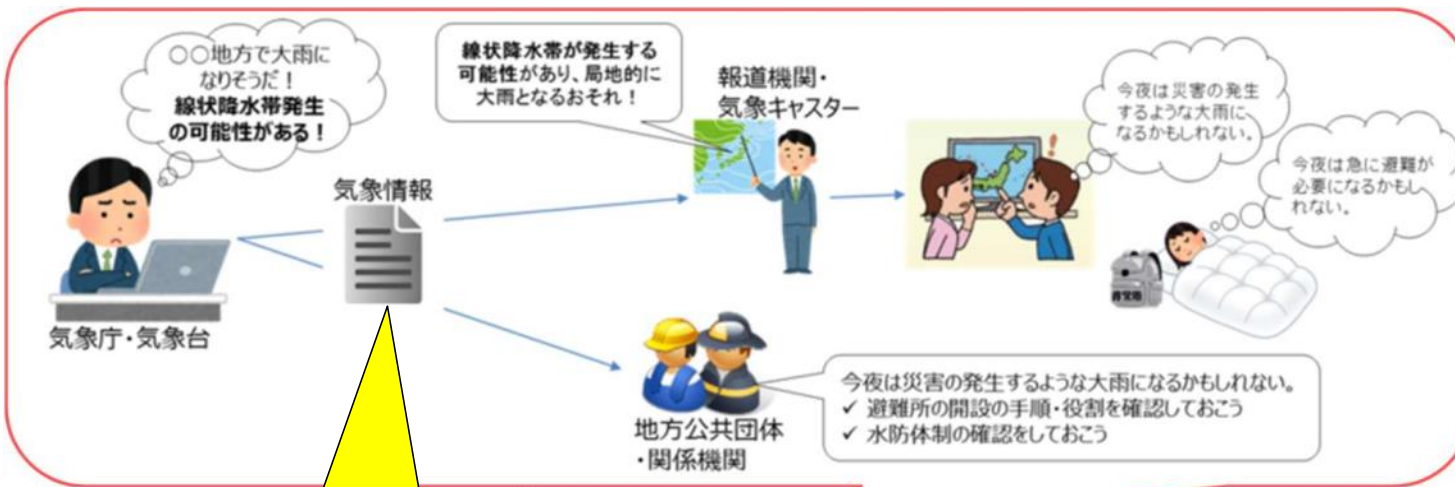
○ 具体的な取組

雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備

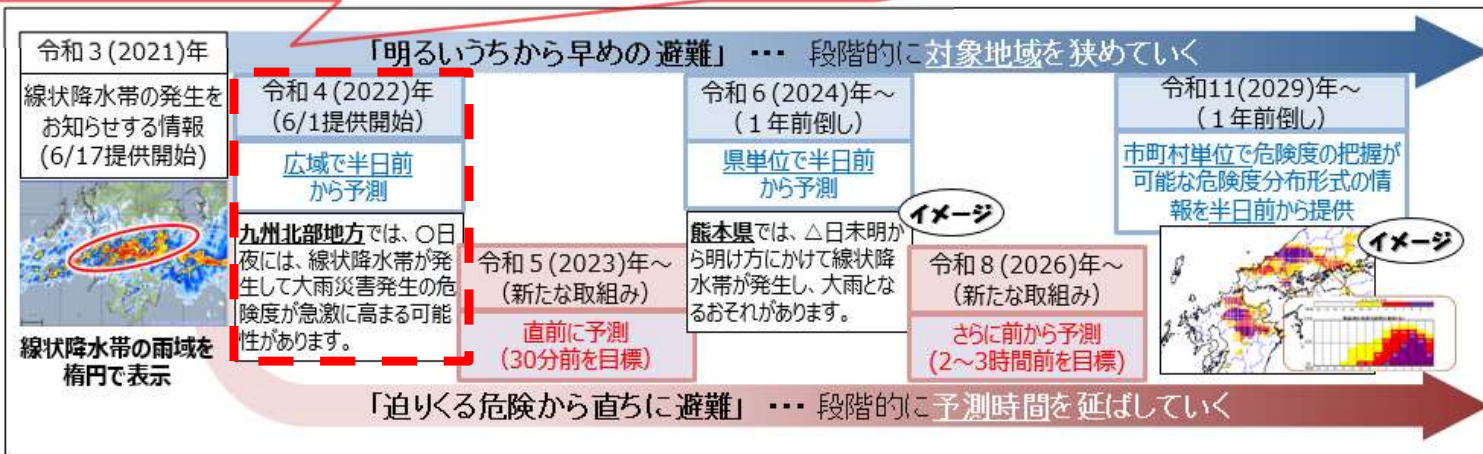
【具体事例】

○ 線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から提供 宇都宮地方気象台

線状降水帯による大雨発生の可能性が高い場合に、複数の県にまたがる広域を対象に、線状降水帯による大雨となる可能性を半日程度前から気象情報において呼びかけを実施。



「〇〇地方では、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。」
 「線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。」



1) ハード対策の主な取組(ソフト対策にも該当)

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 具体的な取組

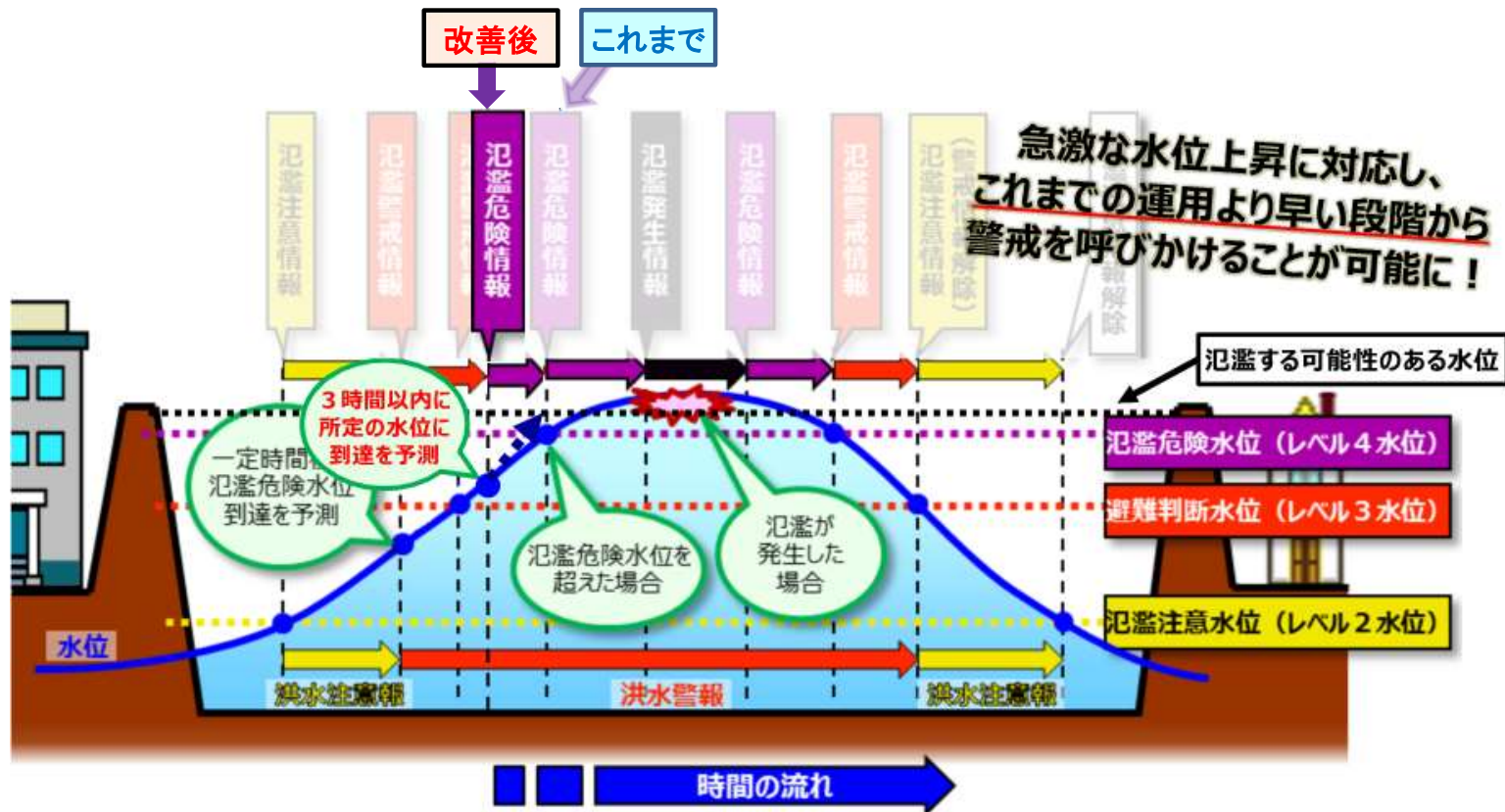
雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備

【具体事例】

○ 指定河川洪水予報(国管理河川)の氾濫危険情報を予測でも発表

宇都宮地方気象台

指定河川洪水予報(国管理河川)の氾濫危険情報を、実況水位が氾濫危険水位到達した場合に加えて、水位が急激に上昇し、3時間以内に氾濫する可能性のある水位に到達する見通しとなった場合は、予測に基づいて発表に改善。



1)ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

水防活動を支援するための水防資機材の配備(新技術活用も含め)及び適切な管理

【具体事例】

○出水期前に関係自治体、消防等と連携し、土木事務所が管理する水防倉庫の点検(資機材の備蓄状況確認)を実施

栃木県



■安足土木の点検状況(5/18)



■宇都宮土木の点検状況(5/25)



■鹿沼土木の点検状況(5/24)



■日光土木の点検状況(5/24)



■大田原土木の点検状況(5/30)



■矢板土木の点検状況(5/31)

1)ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- 具体的な取組
防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

【取組事例】

宇都宮市

○防災ラジオの整備

・情報伝達体制の強化を図るため、令和元年6月から防災ラジオの運用を開始しており、令和4年度についても広報誌や地域の方々が集まる会議や出前講座等の機会を活用し、普及促進を図っており、着実に利用者が増加している。



令和2年2月から
対象者拡大!

緊急告知機能付
もしもの時にも安心
宇都宮市「防災ラジオ」購入補助制度

大きな地震や洪水、土砂災害などが発生しそうなとき、
弾道ミサイルが飛来したときなど エフエム波木 11.7MHzで放送

ラジオをつけていなくても、他の放送を聞いていても、自動的にLEDライトが点灯し、大音量で緊急放送が流れます。
また、ディスプレイに緊急情報の経度（風水害など）が表示されます。

■ 緊急放送の例 ■
本日の朝9時、宇都宮市に「避難準備・高齢者等避難開始」が発表されました。土砂災害が発生する恐れが高まっているので、いつでも避難できる準備をしてください。避難に時間がかかる方と避難を開始してください。
通常のFM・AMラジオ放送も聞くことができます。

補助対象者 離れて暮らす家族も安心!
宇都宮市内に住所があり、市税の滞納がなく、
●メールを受信できる携帯電話等を持たない方
●携帯電話等を持っていても登録制防災情報メールを利用できない方

販売価格（税込）
14,300円
補助金額
10,700円
自己負担額（税込）
3,600円
(消費税10%のとき)

表裏の申請書に記入し、送付用の封筒で下室へ郵送ください。
受付け後、市から購入券を送付します。
購入券と自己負担額を添えて、指定販売店でお求めください。

宇都宮市 防災課
〒328-8501 宇都宮市中央1-2-1
電話 028-538-7640

1)ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

防災行政無線の改良、防災ラジオ配布等の整備

【具体事例】

○防災行政無線戸別受信機設置

矢板市

- ・防災行政無線による情報伝達をさらに充実させるため、既設の防災行政無線のスピーカの付替・追加を実施し、音達域の改善を行った。また、土砂災害警戒区域内で防災行政無線の聞こえが悪いお宅については戸別受信機を設置し、住民への確実な情報伝達が可能となった。



1)ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

【具体事例】 ○防災ラジオの配布

下野市

・令和元年度より、防災ラジオの有償配布のほか、市内に住所を有する80歳以上の方のみで構成する世帯などに対し、申請により無償貸与を実施している。

有償配布

- ・市内に住所を有する方、事業所等がある方
5,000円(1台)
- ・市内に住所を有する75歳以上の方のみで構成される世帯
2,000円(1台)

無償配布

- ・市内に住所を有する80歳以上の方のみで構成される世帯
- ・視覚障がい者1・2級の方
- ・自治会長
- ・自主防災組織代表者
- ・民生委員
など



1)ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

【具体事例】

○防災行政無線の屋外スピーカーを補完するシステムの導入(令和2年度)

塩谷町

- ・戸別受信機の貸与(今後も継続)
- ・スマートフォンアプリ、防災メールへの情報配信



1)ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

【具体事例】

○避難所間の情報ネットワークを利用した訓練

○戸別受信機の無償貸与等により避難行動の促進

高根沢町

・令和3年3月に整備した町役場と町内16カ所ある指定避難所で情報ネットワークを利用した災害対応訓練を行う予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指定避難所の一部で、主に町職員を対象とした情報ネットワークを利用した災害対応訓練を行う予定です。

・屋外拡声子局での防災無線の放送に加えて避難行動要支援者に対して戸別受信機を無償貸与しています。避難に時間がかかる方へ情報提供を迅速に行い避難行動を促進します。



■無償貸与の戸別受信機(ラジオ付き)

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○ 具体的な取組

浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化

【具体事例】

壬生町

令和4年度に壬生町役場新庁舎を建設。災害発生時における防災拠点としての重要な役割があることから、大地震が発生した場合でも、十分な機能を維持できるよう耐震構造とし、停電時における災害対応業務に72時間対応できる非常用発電設備を屋上に設置しました。



また、新庁舎2階に災害対策本部室を設置するための特別会議室を設けたほか、新庁舎の同一敷地内に消防団本部の詰所となる「防災センター」や「多目的広場」を配置することで、災害対応の即時性、効率性を確保しました。

1) ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○具体的な取組

浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化

【具体事例】

○ダムへの放流警報設備等の改良・耐水化に着手

⇒浸水の可能性がある放流警報設備2基の耐水化を実施。

栃木県



対策後



塩原ダム 佐久山放流警報設備(大田原市佐久山)



対策後



西荒川ダム 喜連川放流警報設備(さくら市喜連川)



1)ハード対策の主な取組

■災害に強い交通ネットワークの構築

○具体的な取組

道路アンダーパス部の冠水対策

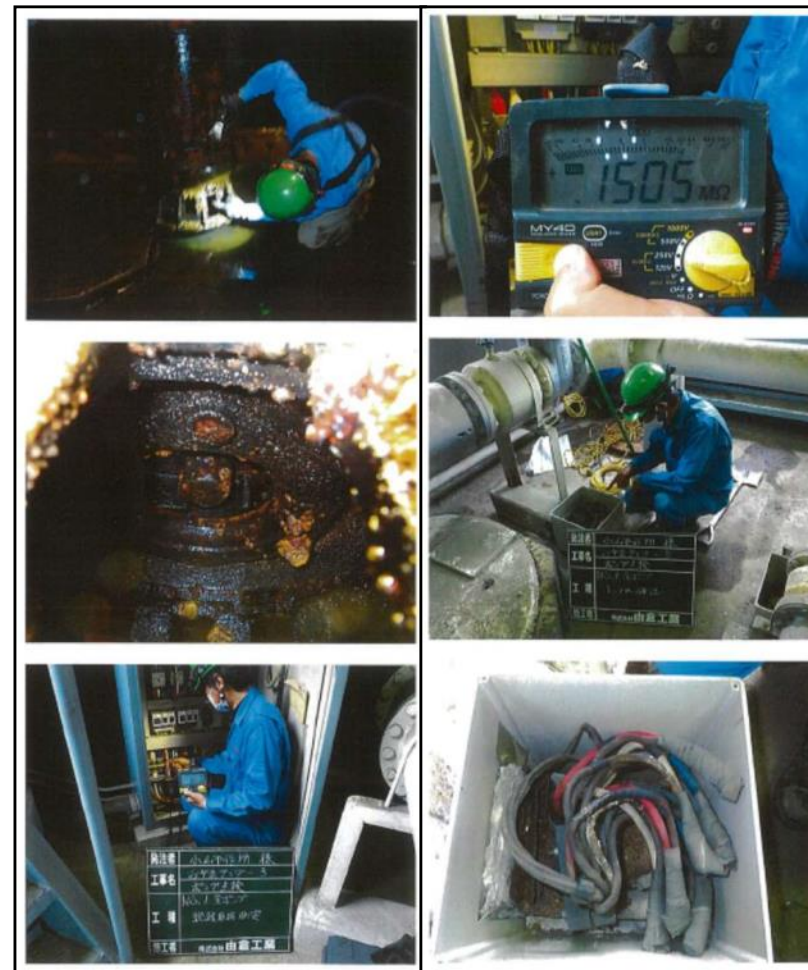
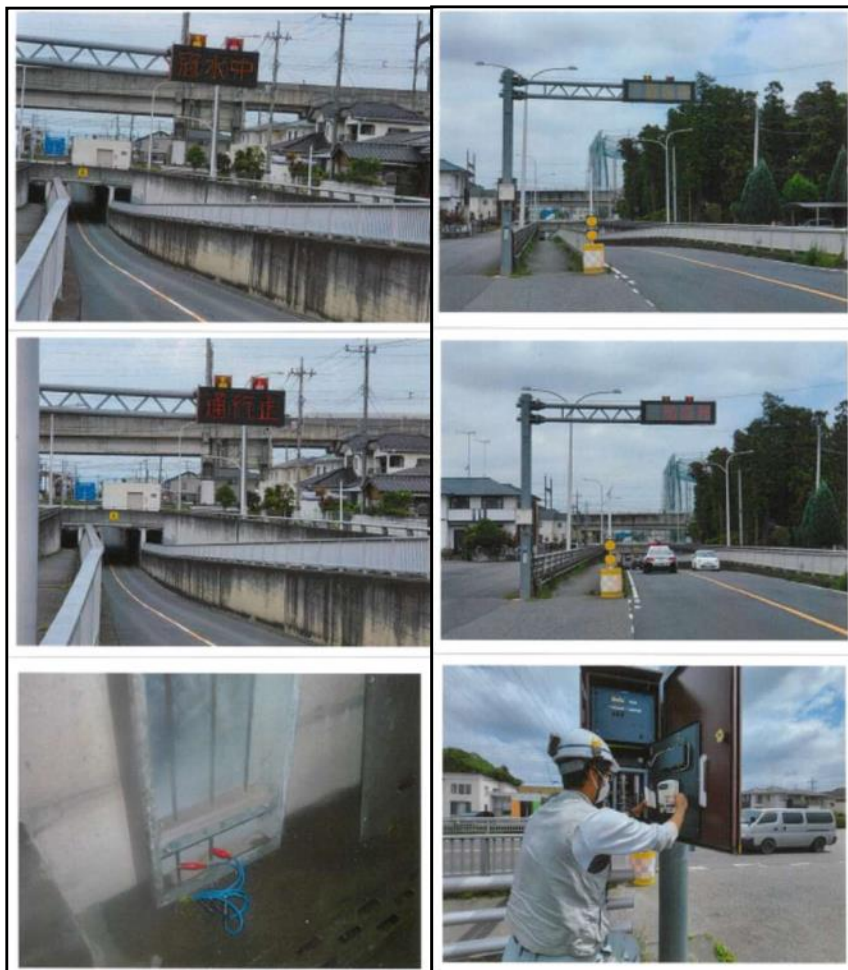
【具体事例】

○アンダーパス部における冠水表示板および排水ポンプの定期点検

小山市

冠水表示板点検状況

排水ポンプ点検状況



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図等の作成や氾濫シミュレーションの公表

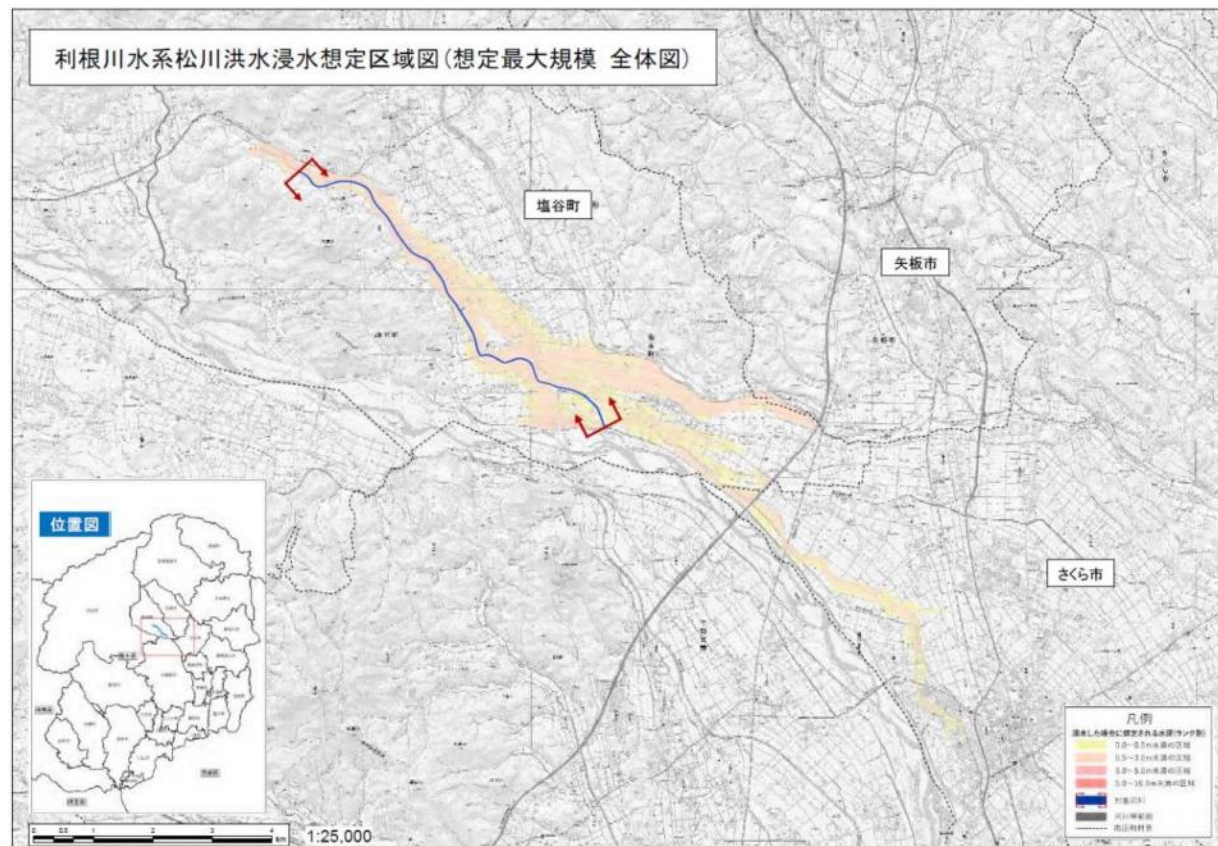
【具体事例】

栃木県

○洪水浸水想定区域図の作成・公表

令和3年7月の水防法改正に伴い、沿川に防護対象がある河川についても、洪水浸水想定区域図を作成し、告示・公表することとなった。

栃木県は、日光市の武子川や塩谷町の松川を含む、県管理の38河川について新たに洪水浸水想定区域図を作成し令和4年5月に告示・公表した。



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○ 具体的な取組

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【取組事例】

○ ハザードマップの改訂版を作成し、地元説明会やパネル展等による周知啓発を実施

宇都宮市

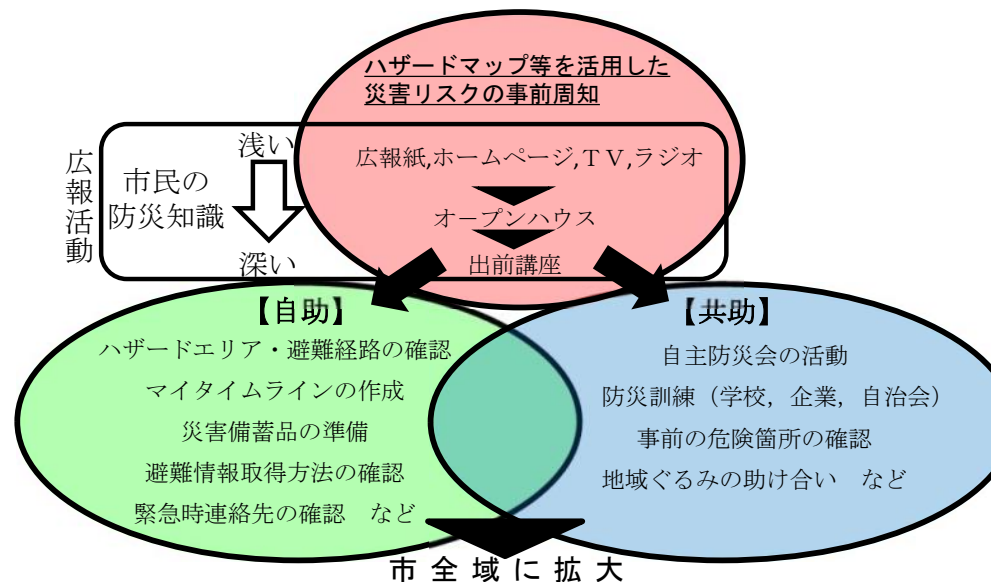
・大型化した台風などによる河川の氾濫に際し、市民の的確かつ迅速な避難行動につなげることを目的に、浸水区域に該当する全戸にハザードマップを配布したほか、地元説明会や各種広報活動等を通じ災害リスクについて市民に広く周知啓発を行った。

2022年 5月 新たに浸水想定区域が追加となった洪水ハザードマップを各地区市民センターにて配架

連合自治会に説明会を実施(3地区)、対象区域住民に改訂版を全戸配布

2022年 8月～9月 「総合治水・雨水対策に関するオープンハウス」開催
(市有施設9か所、商業施設1か所)

年間を通じて 防災出前講座や市広報紙、ホームページ、ツイッター等による周知啓発



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

○浸水想定区域及び浸水リスク想定図を反映したWEBハザードマップの作成

日光市

・新しく追加された浸水想定区域、浸水リスク想定図及び土砂災害警戒区域等を反映したWEBハザードマップを作成



WEBハザードマップの例

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

○洪水・土砂災害ハザードマップの改定

さくら市

- ・洪水浸水想定区域の追加公表及び土砂災害警戒区域等の追加によるハザードマップの更新
- ・冊子 17,000部発行 市民へ新聞配達網等を利用し配布
- ・WEB版 ホームページにて公表



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】 ○ハザードマップの普及啓発を実施

下野市

・令和3年8月に改訂した下野市洪水ハザードマップの窓口における配布のほか、ホームページでの公開、出前講座等を実施し、普及啓発活動を実施している。

はじめに	P1
下野市に影響する河川	P2
洪水の要因と注意点等	P3 / P4
マイ・タイムライン	P5 / P6
浸水想定区域マップ	P7 / P30
浸水継続時間マップ	P31 / P34
日ごとの災害への備えと災害後の対応 「アラート」による緊急情報と自主防災組織	P35 / P36
避難所での注意事項	P37
避難所の位置と入事先	P38



まちづくりリクエスト講座「防災について考えよう」

開催日：8月22日(月) 13:30～ 市民活動センターにて

参加者：15名

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○ 具体的な取組

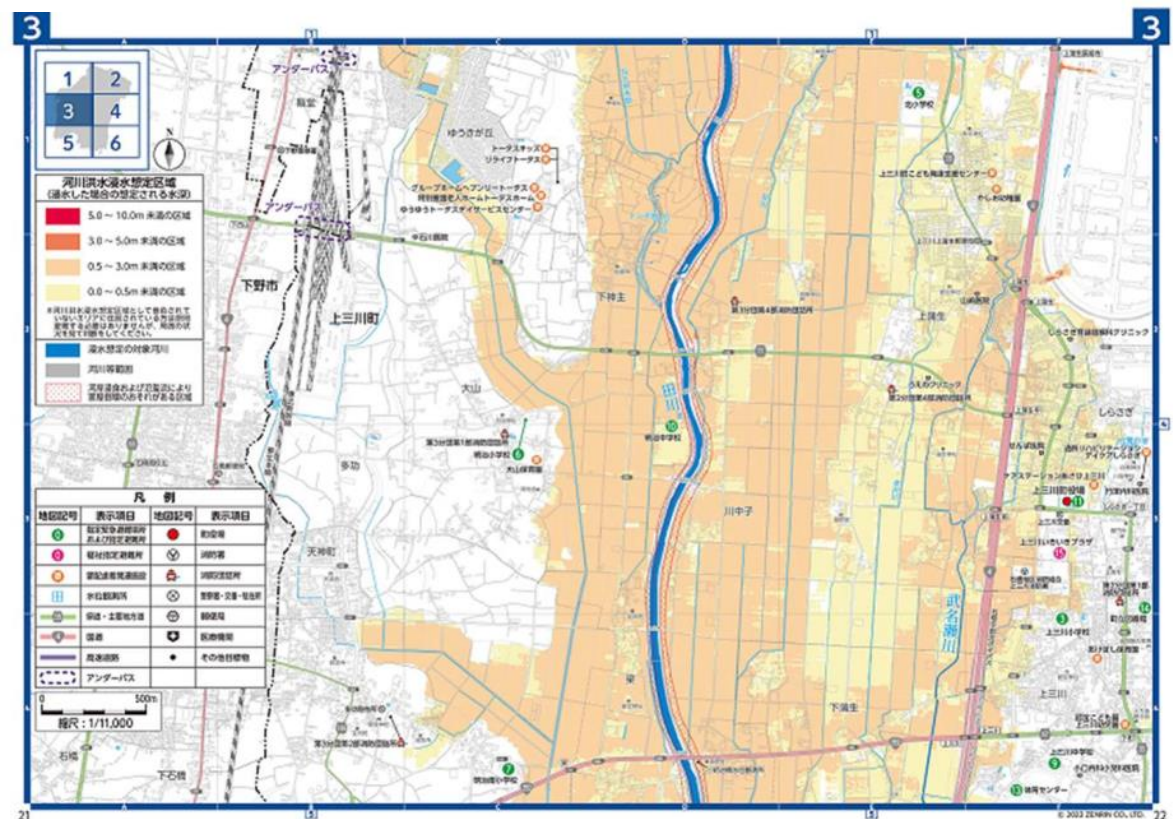
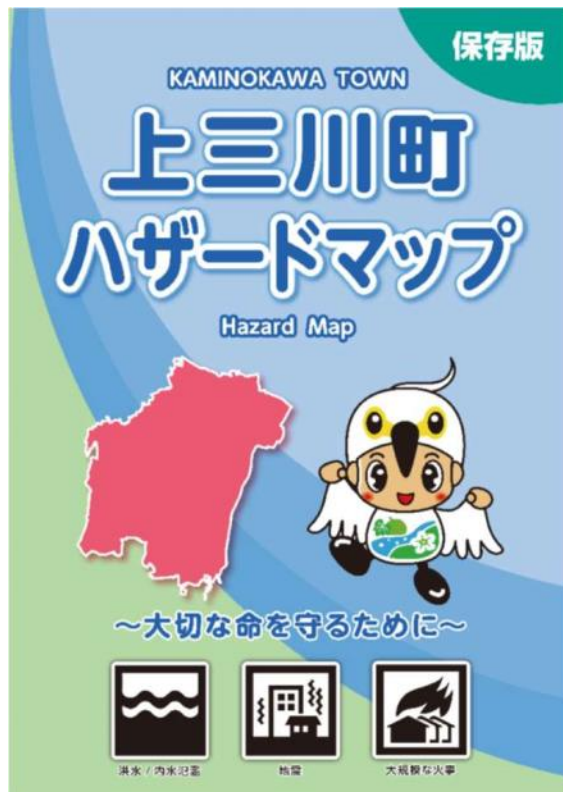
洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

○ ハザードマップの改訂

上三川町

- ・ 田川・鬼怒川の浸水想定区域(想定最大規模)に加え「武名瀬川・江川」を追加
- ・ 町内自治会(各世帯)へ配布



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

○ハザードマップの改定

茂木町

・令和4年3月に土砂災害警戒区域が約500か所、令和4年5月に洪水浸水想定区域が7河川が追加されたことから、令和4年度にハザードマップの改訂を行った。

茂木町 Motegi Town Hazard Map
ハザードマップ
2023年4月 保存版

警戒レベル 避難情報

レベル5 緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難！

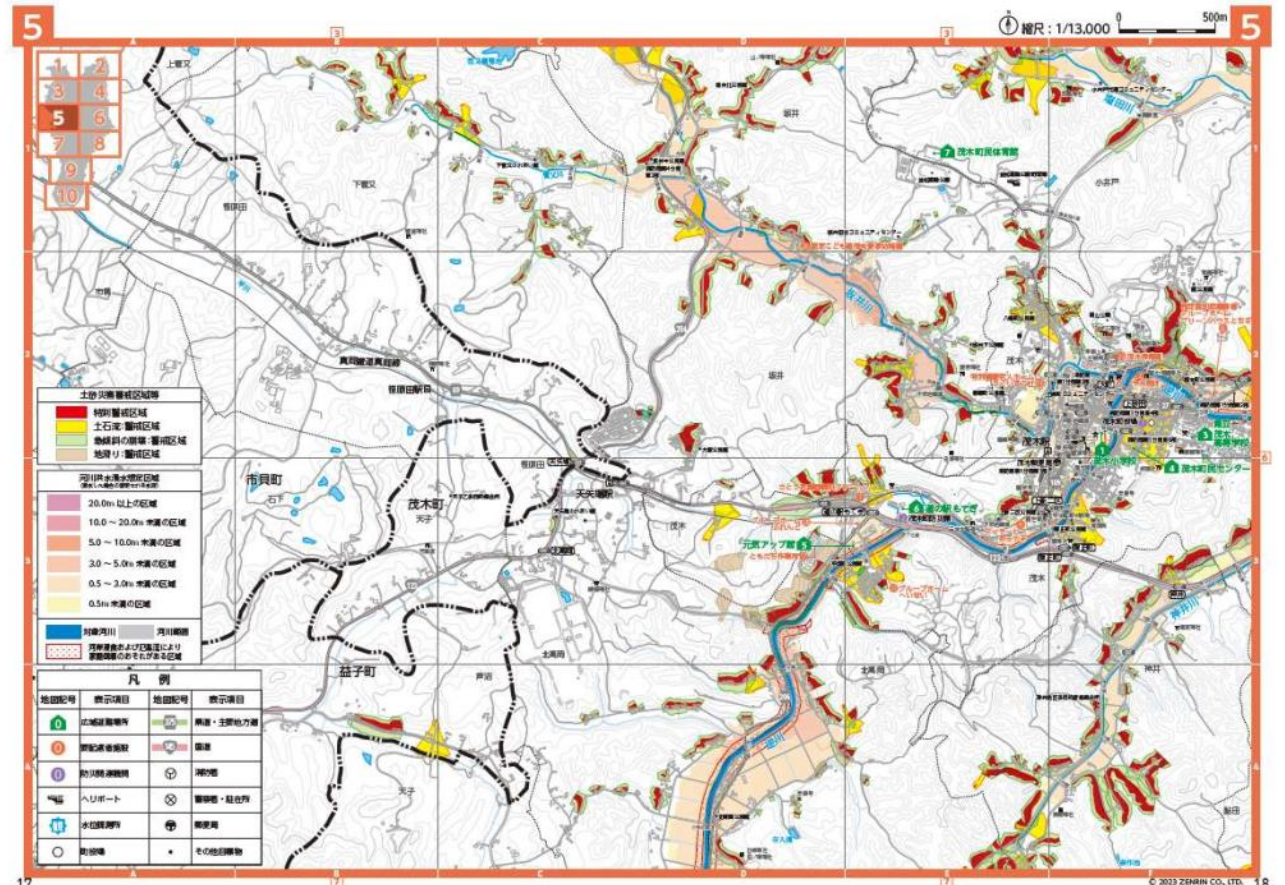
レベル4 避難指示

レベル3 高齢者等避難

レベル2 大雨・洪水注意報

レベル1 早期注意情報

WEB閲覧・ゆずもメール登録
・最新情報の確認はこちら



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

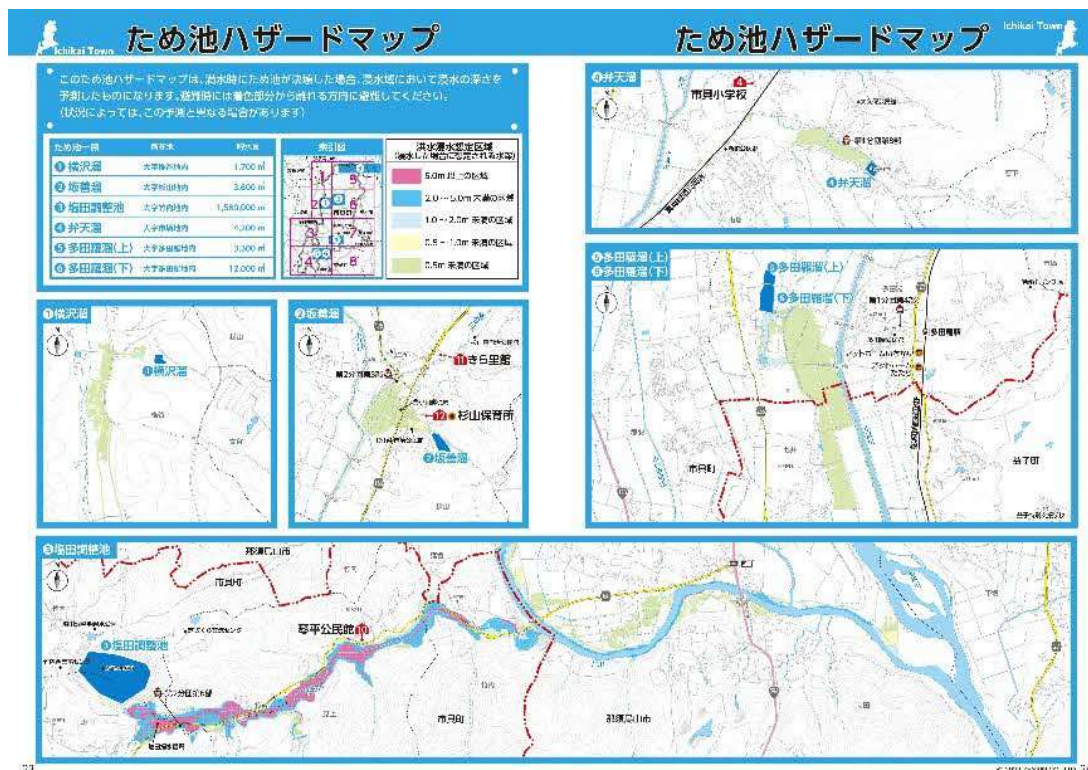
洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

○ハザードマップの改訂

市貝町

- ・桜川、大川の洪水浸水想定区域・想定水深を追加
- ・土砂災害警戒(特別)区域の追加
- ・ため池ハザードマップの追加



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

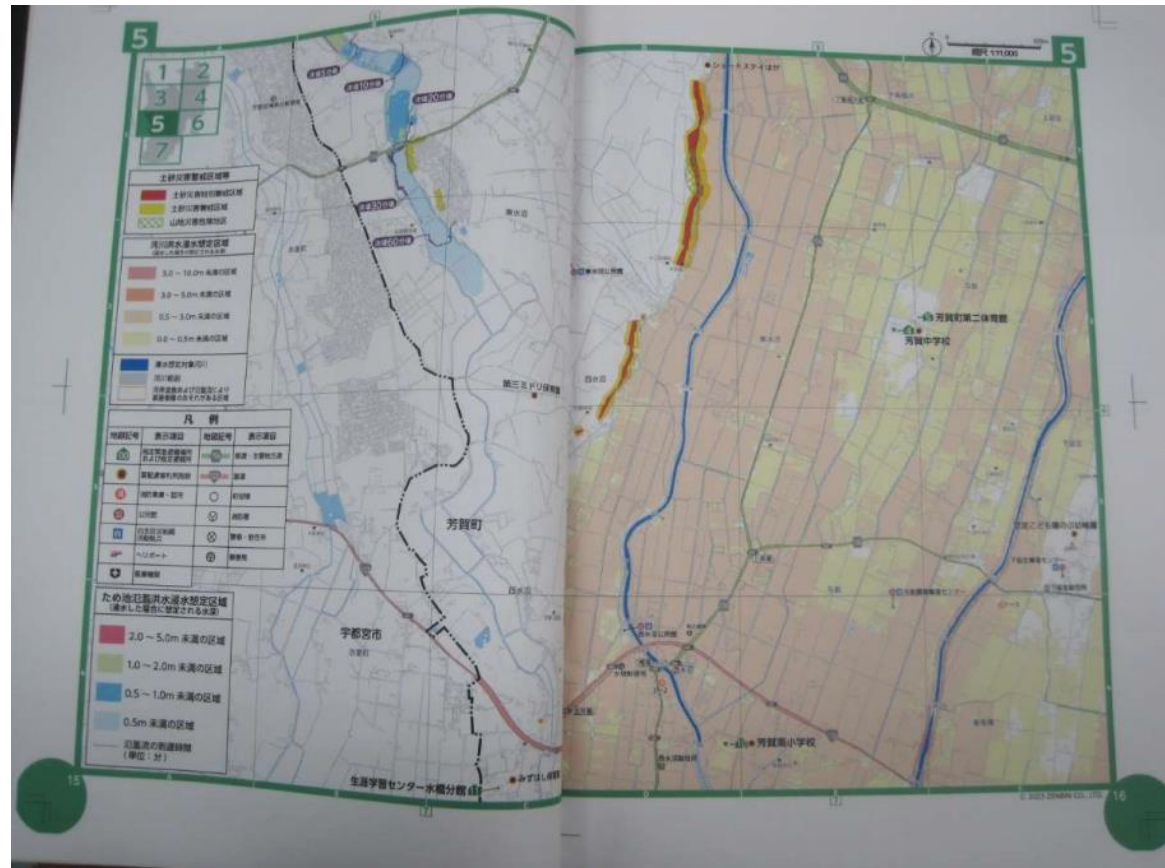
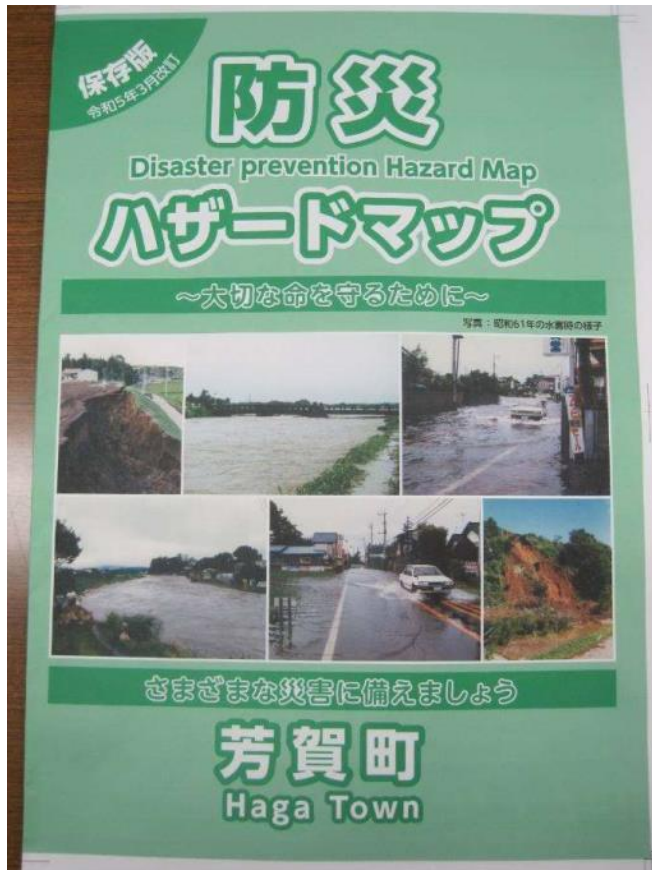
洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

○ハザードマップの改定

芳賀町

- ・鬼怒川、五行川、野元川、大川及び井沼川洪水浸水想定区域図
- ・ため池氾濫洪水浸水想定区域図
- ・土砂災害警戒区域及び山地災害危険地区 掲載



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

塩谷町

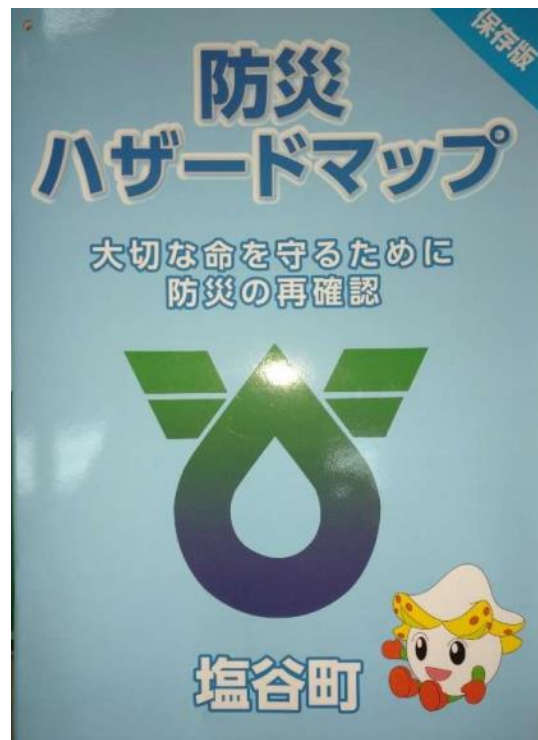
○防災ハザードマップの作成(令和2年度)、配布(役場、道の駅等)

(・鬼怒川浸水想定区域図

・荒川(県管理河川)の上流部のダム放流時の浸水想定図

・土砂災害警戒区域 等掲載)

○地域づくり勉強会・自主防災組織講習会等での周知



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○具体的な取組

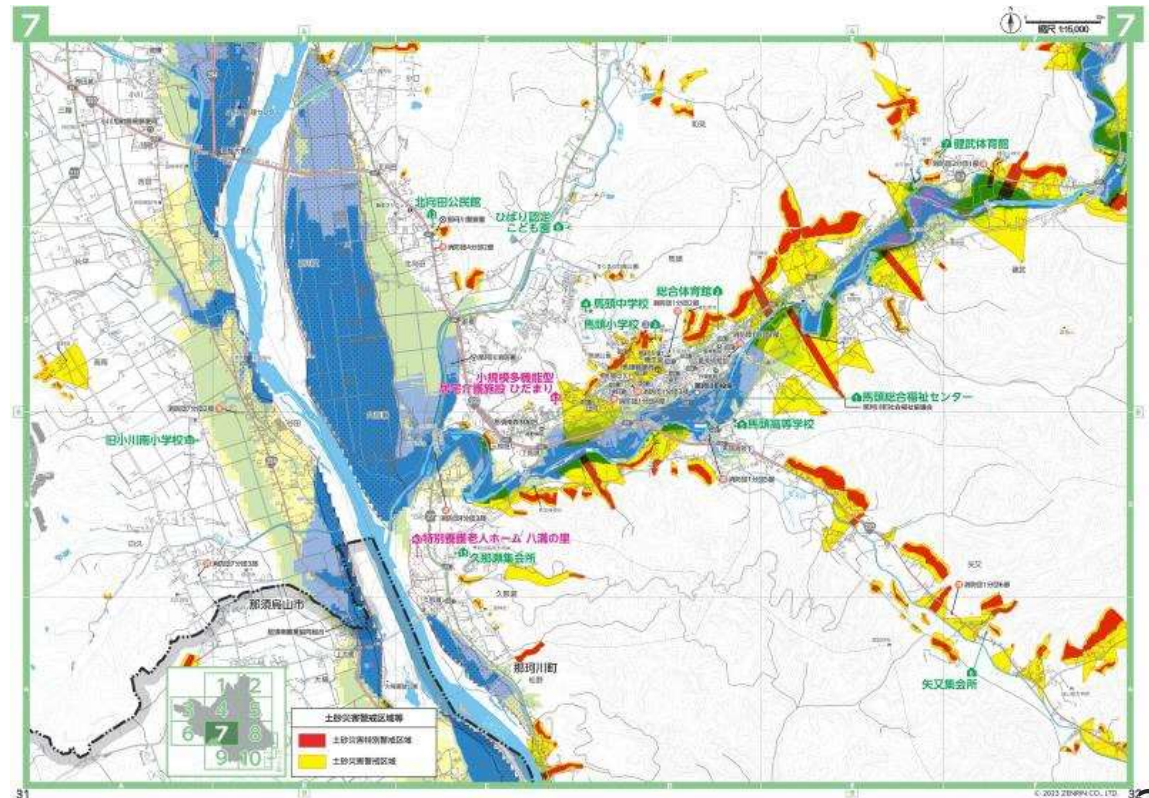
洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知

【具体事例】

○ハザードマップの改訂

那珂川町

- ・令和5年3月改訂
- ・武茂川の洪水浸水想定区域・想定水深を追加
- ・土砂災害警戒(特別)区域の追加



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難計画の作成・促進等

○具体的な取組

避難情報の判断(・伝達マニュアルの見直し)

【具体事例】

避難所運営に関する研修会の実施

栃木県

□避難所の開設・運営のための平時からの準備や災害時の対応、避難所の感染症対策等に関して、事例紹介やワークショップを交え、より現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。

■実施時期

令和4年7月19日(火)

■対象者

市町職員 18名

■実施内容

- ・避難所の開設・運営に関する基礎知識についての座学研修
- ・実際の避難所運営時の諸課題について実践的に学ぶワークショップ
- ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営についての座学研修

■講師

(一社)減災・復興支援機構



避難所受付の訓練の様子

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難計画の作成・促進等

○具体的な取組

避難情報の判断(・伝達マニュアルの見直し)

【具体事例】 避難指示等に関する研修会の実施

栃木県

□災害時の市町の初動対応のあり方や避難指示等の発令に関して、事例紹介やグループワークを交え、より現実に即した理解を深めることを目的として研修会を開催した。

■実施時期

令和4年7月26日(火)

■対象者

市町職員 25名

■実施内容

- ・適切な避難指示等についての座学研修
- ・過去の事例分析
- ・風水害時の対応シミュレーション等についてのグループワーク

■講師

(株)防災&情報研究所



グループワークでの意見交換の様子

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難計画の作成・促進等

○具体的な取組

避難情報の判断(・伝達マニュアルの見直し)

【具体事例】

栃木県・市町村防災トップセミナーの実施

栃木県

□災害時に市町長がリーダーシップを発揮し、的確な対応がとれるよう知識の習得を目的として、学識経験者や災害対応体験首長の講話を盛り込んだセミナー(オンライン)を実施した。



- 実施時期 令和4年10月27日(木)
- 参加者 県内市町長等 19名
- 内容
 - ・風水害対策における市町村長の役割
 - ・災害対応体験首長による体験談
- 実施主体
 - ・栃木県
 - ・(一財)消防防災科学センター

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難計画の作成・促進等

○具体的な取組

避難情報の判断・伝達マニュアルの見直し

【具体事例】

○市町長へダム放流情報に基づく避難情報等の発令判断を支援するため、ダムの事象や情報提供等について説明

栃木県

- ・大田原市長：令和4年5月9日
- ・日光市長：令和4年5月16日
- ・那珂川町長：令和4年5月23日
- ・塩谷町長：令和4年5月25日

※矢板市、那須塩原市、那珂川町には資料送付

【関係市町】

	日光市	塩谷町	矢板市	さくら市	那須塩原市	大田原市	那珂川町	足利市
中禅寺ダム	○							
三河沢ダム	○							
西荒川ダム		○	○	○				
東荒川ダム		○	○	○				
塩原ダム			○		○	○	○	
寺山ダム			○					
松田川ダム								○



日光市長 説明状況



那珂川町長 説明状況

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難計画の作成・促進等

○具体的な取組

地区防災計画や企業BCP策定の促進・強化

【具体事例】

○地区防災計画策定の支援を実施

那珂川町

実施内容

- ・3地区を対象に、計8回、防災講話会やワークショップを実施した。
- ・社会福祉協議会の協力により高齢世帯への地域見守り体制の構築も推進した。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難情報の発令に着目したタイムラインの作成

○具体的な取組

タイムラインの作成及び実践的な訓練の検討・実施

【具体事例】

○実践的な防災訓練の実施

鹿沼市

【開催日時】令和4年6月25日

【参加機関】自衛隊、鹿沼警察署、鹿沼土木事務所、消防団、自主防災会、社会福祉施設等

【訓練概要】職員の情報伝達訓練、災害対策本部運営訓練、初動対応及び情報共有訓練(ブラインド方式)、住民の避難訓練(要配慮者利用施設含む)、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営訓練、防災講習会



新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営訓練



要配慮者避難訓練

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難計画の作成・促進等 ■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

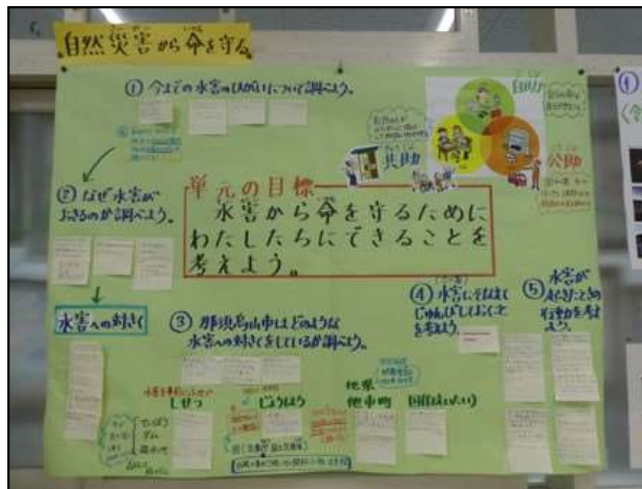
マイ・タイムラインや防災マップ等の避難の実効性を高める取組の実施
小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートも含む)

【具体事例】

○社会科学習における防災講話の実施、マイ・タイムライン作成

那須烏山市

- ・烏山小学校の教諭と連携し、社会科学習の授業において実施。
- ・令和4年9月に防災講話(水害の起こる仕組み、市の水害の歴史、水害への対策等)を実施。
- ・令和4年12月にマイ・タイムライン作成講習会を実施。
- ・マイ・タイムライン作成においては事前課題として児童の各家庭で検討を行ってもらい、児童の保護者へもマイ・タイムラインの普及・啓発を実施。



2)ソフト対策の主な取組①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難指示発令に着目したタイムラインの作成

○具体的な取組事例

タイムラインの作成及び実践的な訓練の検討・実施

【取組事例】

○総合防災訓練の実施

茂木町

・実施日：令和4年8月5日（金）

・災害対策本部設置訓練、公設避難所設置訓練など11種類のメニューを実施した。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

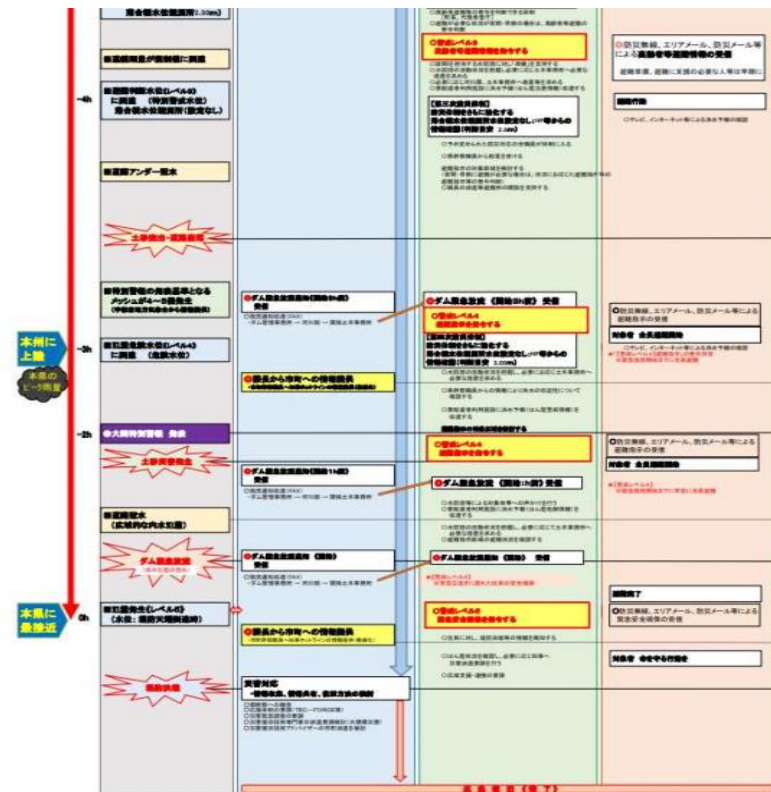
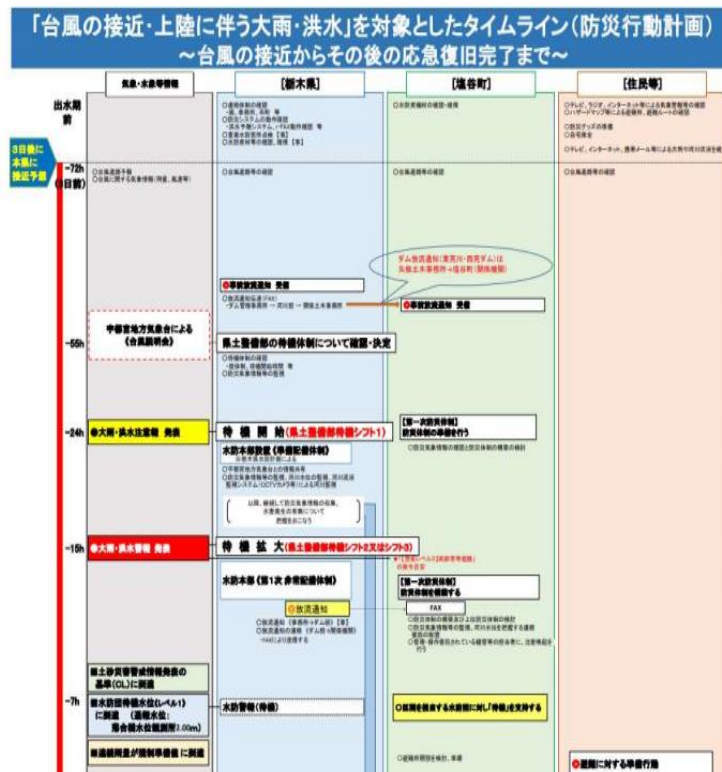
○具体的な取組 タイムラインの作成及び実践的な訓練の検討・実施

【具体事例】

○県のタイムライン修正に伴って、ダム放流時等のタイムラインの見直し、修正を行った。

塩谷町

- ・短時間判断等の上流域の特徴を考慮したタイムラインの更新
- ・実践的な訓練の検討



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難情報の発令に着目したタイムラインの作成

○具体的な取組

タイムラインの作成及び実践的な訓練の検討・実施

【具体事例】

- ・令和4年度栃木県・那須町防災図上総合訓練に参加。
想定気象状況として、令和元年東日本台風を利用し、
現地災害対策本部(那須町)と連携した防災対応を
行う訓練において気象解説を実施。

日 時:令和4年8月3日

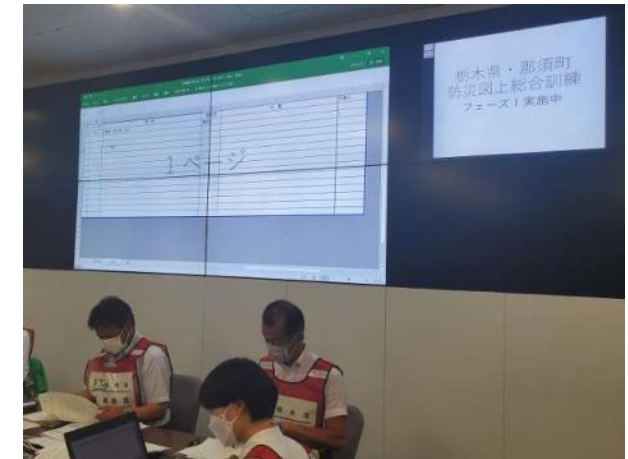
場 所:栃木県庁8階(危機管理センター対策室) ⇄ 那須町

- ・令和4年度栃木県・栃木市総合防災訓練に参加。
令和元年東日本台風災害の教訓等を踏まえ、
防災関係機関の連携による災害発生時の様々な
被害への防災対応を行う訓練においてブース展示
等を実施。

日 時:令和4年12月11日

場 所:栃木市総合運動公園

宇都宮地方気象台



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難情報の発令に着目したタイムラインの作成

○具体的な取組

タイムラインの作成及び実践的な訓練の検討・実施

【具体事例】

【気象防災ワークショップ】

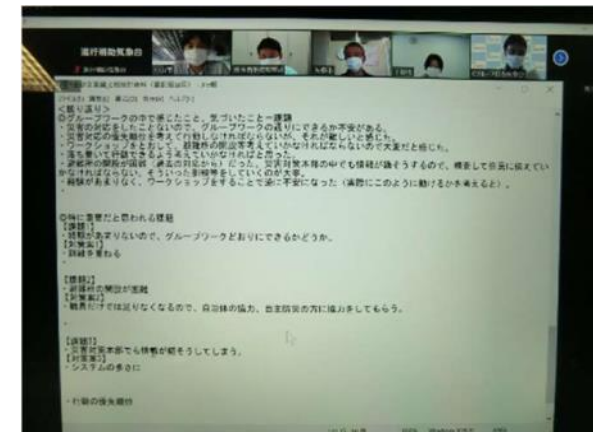
宇都宮地方気象台

○気象台が主催し、Web会議システムを利用したオンライン形式による気象防災ワークショップを実施。

【日 時】:令和4年7月27日(午後) 【場 所】:オンライン(気象台～各市町) 【内 容】土砂災害
【参加者】:15市町(栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、下野市、上三川町、益子町、芳賀町、高根沢町、那須町、那珂川町)
(スタッフ) 気象台

【日 時】:令和5年3月2日(午後) 【場 所】:オンライン(気象台～各市町) 【内 容】中小河川洪水災害
【参加者】:15市町(宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市(2名)、那須塩原市、下野市、上三川町、益子町、壬生町、塩谷町、那珂川町)
(スタッフ) 気象台

■気象庁等から提供される気象情報を適切に使い、的確なタイミングで防災体制の強化や迅速な避難情報の判断・伝達を実施できるよう演習。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

水防災に関する説明会の開催

【具体事例】

○宇都宮大学と協働で自主防災組織設立を推進

さくら市

- ・令和4年5月17日
内容: 自主防災組織未設立地区の区長を訪問。
アンケート実施
- ・令和4年8月21日
内容: 北草川地区にて設立に向けた説明会
- ・令和4年10月8日
内容: 鍛冶ヶ澤地区にて設立に向けた説明会



さくら市鍛冶ヶ澤地区の皆様

地域の防災一緒に考えませんか？

自主防災組織一緒に設立しませんか？

さくら市鍛冶ヶ澤地区

自主防災組織意見交換会

日時：10/8（土）18:00～

会場：鍛冶ヶ澤公民館


自分たちのまちは自分たちで守る！

自主防災組織とは？

自主防災組織は「自助・共助」の精神のもと、自分たちの身を自分たち自身で守るために、災害発生時の避難誘導や避難訓練、勉強会など、みんなのできる防災活動を行います。

意見交換会では

「設立するためには何をすればいいの？」
「どうやって運営するの？」など、疑問に感じていることを何でもぶつけてください。
様々な問題に対して、どのように対応していくか解決策を一緒に考えましょう。



宇都宮大学 地域デザイン科学部

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

水防災に関する説明会の開催

【具体事例】

○ 各種団体や地域住民に対し，風水害対策に関する説明会や出前講座を実施

上三川町

【内容】マイタイムラインの作成講座、自主防災組織設立に向けた説明会を実施。



マイタイムライン作成講座



自主防災組織設立に関する説明会

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

水防災に関する説明会を開催

【具体事例】

○自治会(自主防災組織)の会長を対象に地区防災計画策定促進に係る講演会を開催

益子町

- ・日時 令和4年12月13日(火)
- ・場所 益子町町民センター ホール
- ・講師 栃木県防災士会 理事長 稲葉 茂 氏
- ・演題 「地域住民が作る地区防災計画」



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

水防災に関する説明会の開催

【具体事例】

○避難所開設及び備蓄品の設置訓練を実施

野木町

- ・自治会の班長以上を対象に全指定避難所において実施(433名参加)
- ・実際に備蓄されているパーティションやダンボールベッドを使用
- ・備蓄品の展示や防災メール等の登録について啓発を実施



パーティションの設置



ダンボールベッドの設置

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 具体的な取組

水防災に関する説明会の開催

【具体事例】

○ 県防災館で防災研修を実施

塩谷町

- ・ 防災研修の一環として、住民の希望者を募っての県防災館での体験及び視察（日程変更で11月での実施）
- ・ 大雨の体験も計画していたが、コロナ禍のため、大雨体験は実施できず。

- ・ 令和4年11月22日 実施
- ・ 参加人数 18名



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

水防災に関する説明会の開催

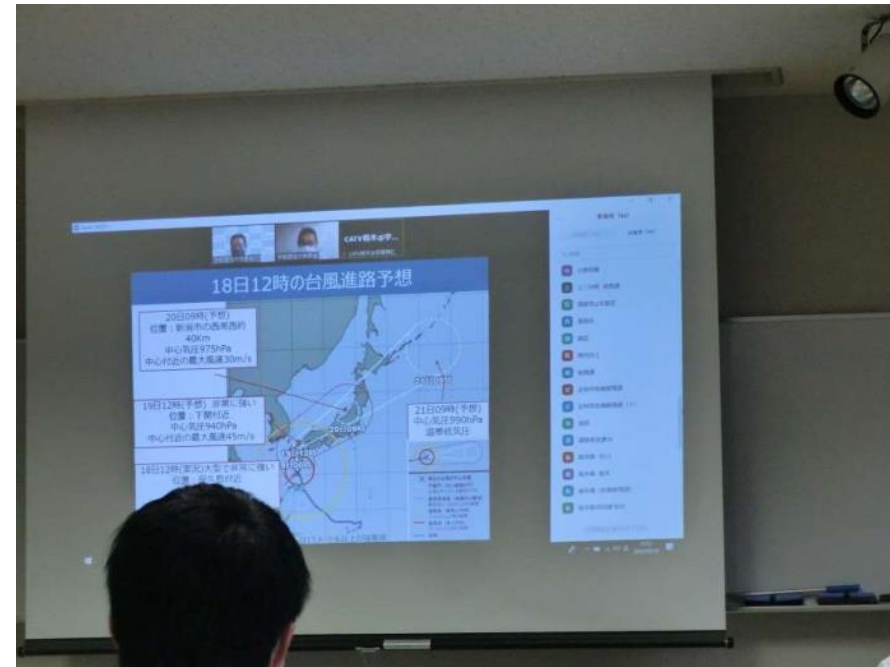
【具体事例】

○台風説明会を実施

宇都宮地方気象台

台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会を対面とオンライン形式で開催し、関係機関に注意、警戒を呼びかけ解説資料を提供。

- ・令和4年8月12日 台風第 8号(宇都宮地方気象台)
- ・令和4年9月18日 台風第14号(宇都宮地方気象台)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】

○小学生を対象とした防災教育の実施

小山市

令和4年度 防災体験学習

講話や体験活動を通して、子どもたちの防災への意識を高め、自分の命を守るとともに助け合い協力して活動することの大切さを学んでもらうことを目的に、過去に水害を受けた経験のある地域の小学校を会場に防災体験学習を実施した。

【期日】令和4年11月26日(土) 【会場】小山市立寒川小学校 【参加者】4～6年の希望する児童及び保護者 30名

(1)防災講話「災害から命を守るために
～災害時の対応と災害への備え～」

(2)防災体験

①避難所開設体験

「段ボールベッド設置体験」「パーティション設置体験」

②防災グッズ作り体験 「新聞紙スリッパづくり」

③非常食の説明・配付



防災講話



段ボールベッド設置体験



パーティション設置体験

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】

○教職員を対象とした研修会の実施

小山市

令和4年度 防災リーダー講習会

教職員の防災に関する理解や対応能力、防災教育に関する指導力等、専門的な知識や資質の向上を図るとともに、各校の災害安全に関わる取組の改善・充実に生かすことを目的に平成25年度より開催している。本年度は座学と実技を組合せ、豪雨災害対応の経験を含めた講話と普通救命講習を実施した

【期日】令和4年8月12日(金) 【会場】小山市文化センター小ホール 【参加者】38名

【内容】

(1)講義「学校における防災リーダーの役割と期待されること」

講師:小山市消防本部危機管理課

(2)実技「AEDを含めた普通救命講習」

講師:小山消防署職員

令和4年度 教職員対象防災リーダー講習

学校における防災リーダー
の役割と期待されること

令和4年8月12日(金) 9時25分から
小山市立文化センター小ホール

全ての公務員が心がけること

- 1 職種にかかわらず、すべての公務員が災害対策要員であるという意識
- 2 判断力の養成
- 3 参集方法、連絡方法の確認

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】 ○教職員を対象とした研修会の実施

小山市

令和4年度 防災教育セミナー

防災に関する演習や講話を通して、教職員の防災意識を高めるとともに、各校の防災教育の改善・充実を図ることを目的に平成24年度より開催している。

【期日】令和4年11月25日(金) 【会場】小山市役所本庁舎2階会議室 【参加者】32名

【内容】(1)講話「今、学校に求められる防災教育」

講師に常葉大学大学院環境防災研究科教授重川先生をお迎えし、学校における継続的な防災教育の重要性や命を守るための避難の在り方等についてご講話いただいた。

(2)参加者による意見交換「各校の防災教育の取組について」

講話の内容や事務局より提示した視点をもとに、参加者が自校の避難訓練の在り方や、防災に関わる取組等の検証を行い、中学校区ごとに意見交換を行った。



講師による講話



講師資料より



意見交換のようす

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートも含む)

取組事例

○小学校4年生の総合学習の授業時に、市の防災対策と題して出前講座を実施

大田原市

■内容

市の過去の災害、市の防災対策、市と住民の取組等

防災について知ろう！

～大田原市の防災対策について～



大田原小学校(令和4年9月12日)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートも含む)

【具体事例】 ○小学校の児童生徒を対象に「マイ・タイムライン作成講座」を開催

矢板市

・川崎小学校(浸水想定区域内に立地)の4年生に、マイタイムライン作成講座実施
2022年9月27日 川崎小学校4年生16名



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】

○小中学校・公民館の防災学習の一環として、防災講話や避難所生活体験の実施

那須塩原市

【実施内容】

- ・共助への理解を深める一助とするため、避難所生活体験を実施(小学校6年生・中学校3年生)。
- ・身の回りの危険を知り、安全な避難行動につなげるための、防災講話及びクイズの実施(小学校1～3年生)。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートも含む)

【具体事例】

○中学生を対象とした防災教育の実施

さくら市

○「総合的な学習の時間」にて、ハザードマップ等の説明

- ・日時:令和4年8月25日
- ・場所:喜連川中学校
- ・対象:中学3年生(約20名)



さくら市防災ハザードマップ

「総合的な学習の時間」
令和4年9月 喜連川中学校

さくら市総務課危機管理係

啓発活動

- ・作成時に全世帯に配布
- ・広報さくらで防災特集
- ・ホームページに掲載
- ・区長や地域で説明会
- ・さくら市に引っ越してきた人に配布



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教職員へのサポートも含む)

【具体事例】

○市内幼稚園での避難訓練における市消防団員の動員、小学校での防災講話、消防団体験会を実施

下野市

1.実施日:令和4年10月29日(土) 実施場所:下野市立緑小学校

実施内容:学校祭にて市の防災倉庫(小学校内に設置)に保管している備蓄品の展示及び体験会を実施した。また、消防団のPR活動として、消防ポンプ自動車の展示、放水体験(実際の放水なし)などを実施した。

2.実施日:令和4年11月6日(日) 実施場所:下野市南河内公民館、南河内球場

実施内容:市安全安心課職員による防災講話、市で保管している備蓄品の紹介、段ボールベッドの組み立て体験、消防団のPR活動(消防ポンプ自動車展示、防火服を着用した水消火器体験)を実施した。

3.実施日:令和4年11月30日(水) 実施場所:野ばら幼稚園

実施内容:避難訓練、消防ポンプ自動車の展示、放水見学、消火器操作体験

4.実施日:令和4年12月6日(火) 実施場所:下野市立石橋北小学校

実施内容:市安全安心課職員による防災講話、下野市消防団、石橋消防署による消防ポンプ自動車の展示、煙道体験、防火服を着用した水消火器操作体験



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】

○小学生を対象とした防災教育の実施

上三川町

- ・上三川小・北小・坂上小・明治小・明治南小で実施
- ・災害が発生し避難所に避難した際の一連の流れを体験することによって、災害に対する意識の向上を目指す。また、避難所の開設から運営、撤去に至るまで、実際の避難所担当職員が作業することにより避難所対応の経験を高める。



検温・受付



ダンボールパーテーション・アルミマットの設置



必要な防災グッズについて話し合う



避難時の行動・資機材の説明



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】

○逃げ遅れゼロに向けた防災教育

○町立小中学校の児童生徒を対象に「マイ・タイムライン作成講座」を開催

高根沢町

○マイ・タイムライン認定講座を受講した町内の防災士が講師となり、町内の小学5年生と中学1年生を対象に「逃げキッド」を使用した「マイ・タイムライン作成講座」を開催。来年度も開催予定。(小学校6校・中学校2校)

令和4年6月 3日	町立中央小学校	5年生対象
令和4年6月29日	町立北小学校	5年生対象
令和4年7月 5日	町立北高根沢中学校	1年生対象
令和4年7月 7日	町立阿久津中学校	1年生対象
令和4年9月 1日	町立西小学校	5年生対象
令和4年9月 5日	町立上高根沢小学校	1年生対象
令和4年9月13日	町立東小学校	5年生対象
令和5年1月13日	町立阿久津小学校	5年生対象



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートも含む)

【具体事例】

○小学校の児童生徒を対象に「マイ・タイムライン作成講座」を開催

那須町

・那須町の小中学校における防災学習「NAiSUタイム」の一環として、田代友愛小学校生徒を対象に那須町と損保ジャパン株式会社栃木支店と合同で防災教室を実施。

■実施内容

- 1.防災学習、応急手当ワークショップ
- 2.紙食器づくり、防災カードゲーム
- 3.防災人形劇の映画鑑賞



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】

○栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学の出前講座「体験気象学」において、実験を通じた気象に関する講座を実施。気象庁(気象台)の業務の説明や実験を通して、気象及び防災に関する意識を高めた。

- ・令和4年7月29日 塩谷町生涯学習センター 14名
- ・令和4年8月 4日 栃木市皆川公民館 17名
- ・令和4年8月 8日 真岡市公民館 31名
- ・令和4年8月 9日 佐野市中央公民館 10名

○中学生の職場体験を受け入れ、体験学習の中で気象庁(気象台)の業務の説明や実験を通して、気象及び防災知識の啓発を実施。

- ・令和4年12月 5日～7日 中学生(1名)



宇都宮地方気象台



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

小中学生を対象とした防災教育の実施(教員へのサポートを含む)

【具体事例】

○河川水難事故防止や土砂災害防止のための「出前講座」を実施

・台風や大雨が増える夏場を迎えるにあたり、ゲリラ豪雨等で急激に河川が増水することによる水難事故等の発生を防止するため、県内の小中学校へ各土木事務所職員が出向き、出前講座を実施した。

栃木県

■実施校(計16校)

- ① 7月6日(水) 栃木市立部屋小学校
- ② 7月6日(水) 那須町立那須中学校
- ③ 7月7日(木) 茂木町立茂木小学校
- ④ 7月7日(木) 那須町立那須高原小学校
- ⑤ 7月7日(木) 足利市立坂西北小学校
- ⑥ 7月8日(金) 那須烏山市立荒川小学校
- ⑦ 7月8日(金) 佐野市立常盤小学校
- ⑧ 7月11日(月) 鹿沼市立板荷小学校
- ⑨ 7月11日(月) 日光市立今市小学校
- ⑩ 7月11日(月) 塩谷町玉生小学校
- ⑪ 7月13日(水) 上三川町立本郷小学校
- ⑫ 7月13日(水) 那須町立学びの森小学校
- ⑬ 7月13日(水) 那珂川町立馬頭小学校
- ⑭ 7月14日(木) 大田原市立佐久山小学校
- ⑮ 7月19日(火) 那須町立高久小学校
- ⑯ 7月21日(木) 宇都宮市立錦小学校



【川に関するクイズの実施】



【模型による説明】



【パワーポイントによる説明】



【ライフジャケットの説明・試着】

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】 ○防災に関する知識の向上を図るために、小学校や自治会等で出前講座を実施

日光市



しぜんさいがい そな
自然災害への備え

2022年9月27日(火)
大桑小学校4年生
日光市役所 総務課 防災対策係

1

出前講座資料の一部①



ちいきとくせい
日光市の地域特性

日光市
面積: 1,449.83km² (全国第3位)
人口: 78,043人
世帯数: 36,557世帯

そつてい さいがい
想定される災害

ふうずいがい
①風水害 どせきりゅう
はんらん、土石流、がけくずれ、杉並木倒木
②地震
家屋倒壊、がけくずれ
③豪雪 (豪雪地帯指定: 日光・藤原・栗山)
なだれ、交通障害
④火山災害 (日光白根山、高原山、男体山)
⑤その他
火災災害

3

出前講座資料の一部②

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】

○地域住民等を対象に、防災ハザードマップの見方・活用法や災害に対する備え等
防災に関する講話を実施

那須塩原市

災害に備える

令和4年12月16日(金)
鍋掛地域コミュニティセンター
那須塩原市 総務部 危機管理室

公助 市が行う災害への備え

◆防災ハザードマップの作成、周知

◎那須塩原市防災ハザードマップ (R4.3作成)

- ▶土砂災害(特別)警戒区域、洪水浸水想定区域、5段階の警戒レベル、災害情報の伝達、指定避難所、災害への備え

◎那須岳火山防災マップ

- ▶火山噴火の危険区域予測図、前兆現象、情報提供先



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】

○出前講座等を活用し、各地区にて防災講話を実施。

さくら市

- | | | | |
|-------------|--------------|-----|------|
| ・ 令和4年4月12日 | 押上地区の高齢者向け | 参加者 | 約15名 |
| ・ 令和4年5月12日 | 喜連川地区の高齢者向け | 参加者 | 約40名 |
| ・ 令和4年5月13日 | 地域連携推進委員向け | 参加者 | 約70名 |
| ・ 令和4年6月8日 | 上阿久津地区の高齢者向け | 参加者 | 約20名 |
| ・ 令和4年9月9日 | 喜連川地区の親子向け | 参加者 | 約10名 |

※主な講演内容

- ・ハザードマップの説明
- ・自主防災組織の設立、活動
- ・情報取得ツールの照会



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】

○防災士を招いた勉強会を実施

塩谷町

- ・高齢者支援課と連携し、地域づくり勉強会において防災士を招いての講話、体験等を実施した。
- ・また、自主防災組織の訓練等の際に同様のものを実施した。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】

宇都宮地方気象台

○防災士養成講座や防災リーダー研修会に職員を派遣し、防災気象情報の普及啓発を実施

・大田原市「防災士養成講座」

【日時】:令和4年11月19日 【場所】:大田原市役所南別館 【対象】:一般(約40名)

・小山市「防災士養成講座」

【日時】:令和4年12月3日 【場所】:小山市健康医療介護総合支援センター 【対象】:一般(約50名)

・足利市「防災リーダー研修会」

【日時】:令和4年12月4日、令和5年2月26日予定 【場所】:あしかがフラワーパークプラザ

【対象】:一般(2日間合計 約200名予定)

・鹿沼市「防災士養成講座」

【日時】:令和5年1月28日 【場所】:鹿沼市菊沢コミュニティセンター

【対象】:一般(約50名)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】

県政出前講座を通じた防災教育の実施

栃木県

□防災・減災に関する普及啓発及び理解促進を目的として、防災部局の職員が講師となり学生や防災士を目指す県民に対して減災・防災についての講座を実施した。

開催日	主催者・開催場所等	参加者数(名)
R4年5月	作新学院大学	67
R4年5月	地方自治研究センター	128
R4年7月	宇都宮大学	16
R4年7月	栃木県立南那須特別支援学校	75
R4年7月	白鷗大学	200
R4年8月	栃木県手話通訳問題研究所	30
R4年9月	宇都宮大学	36
R4年11月	下野市女性防火クラブ	23
R4年11月	大田原市防災士養成講座	70
R4年11月	作新学院大学防災士養成講座	70
R5年1月	鹿沼市防災士養成講座	52
R5年2月	作新学院大学防災士養成講座②	70



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】

○ダムに関する意見交換会の実施

栃木県

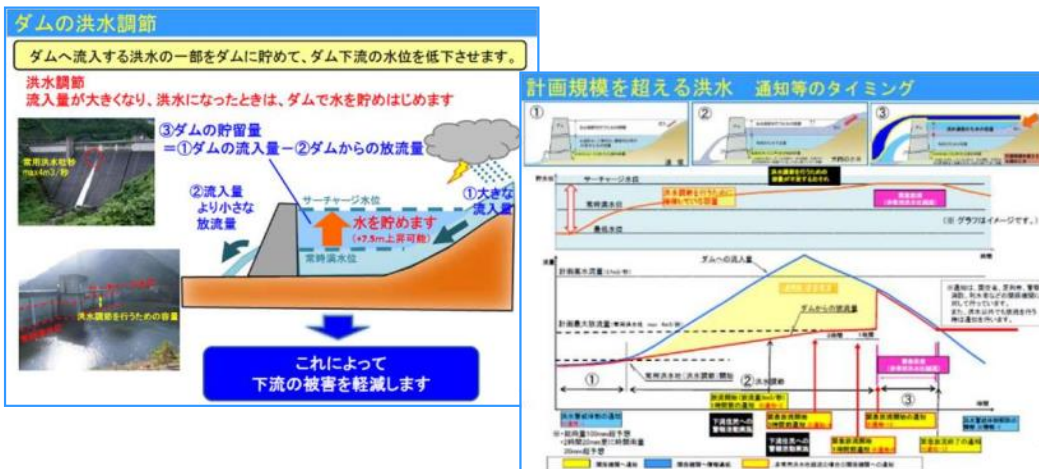
・足利市と意見交換会を実施し、松田川ダムの概要や洪水調節等について説明し、異常気象時の対応等について情報共有を行った。

■実施日:令和4年10月3日

■参加者:足利市職員 7名



足利市との意見交換会実施の様子



当日資料(一部抜粋)

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○具体的な取組

出前講座等を活用した講習会(啓発活動)の実施

【具体事例】

栃木県

○出前講座により、土砂災害防止に関する説明を実施

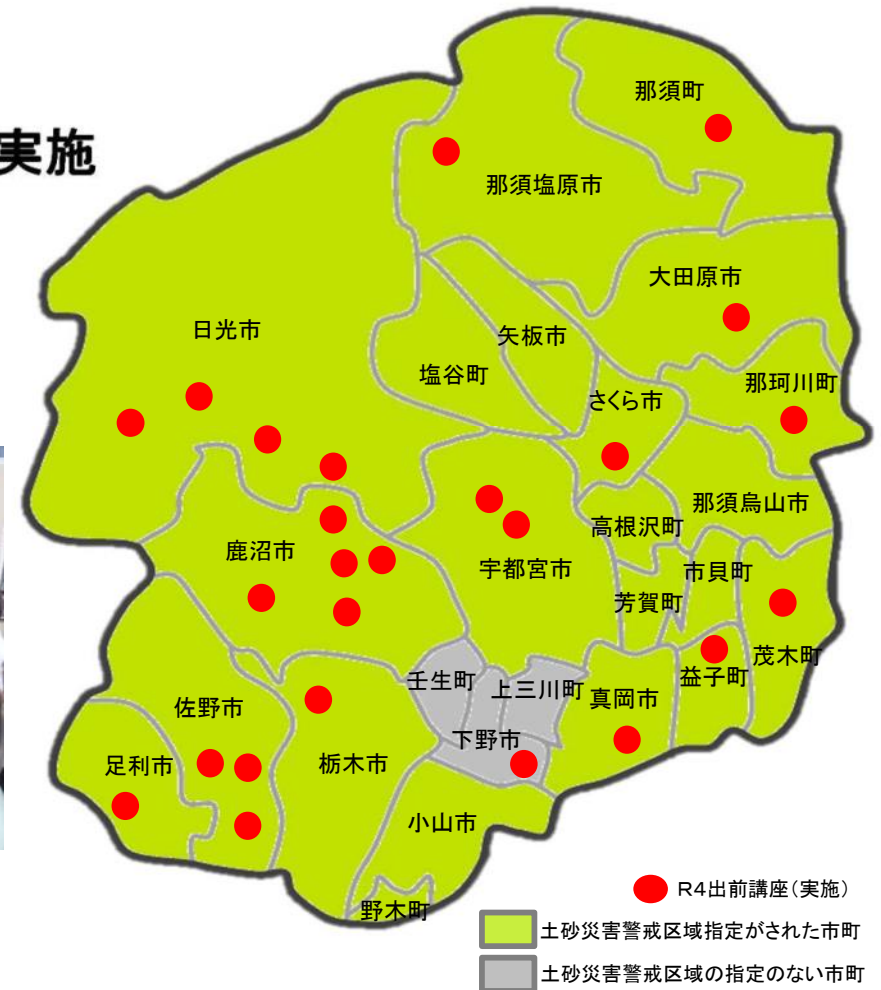
■小中高学生及び教職員を対象とした出前講座を実施
25回 1,991名 (R5.3末時点)



茂木町立茂木小学校
7/7 実施



那珂川町立馬頭小学校
6/30 実施



2)ソフト対策の主な①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■共助の仕組みの強化

○具体的な取組

自助、共助を目指した自主防災組織の充実

【取組事例】

宇都宮市

○自主防災会連絡会議及び研修会の実施

・全39地区の自主防災会相互の連携及び自主防災体制の充実強化を目的として、自主防災会連絡会議を実施した。

〔議事〕 ・「災害対策基本法から考える自主防災活動」について
・グループ討議(取組み, 工夫, 課題などの情報共有)

・自主防災組織の更なる育成・強化を推進するため, 自主防災会の役員・リーダー等を対象とした研修会を実施した。

〔内容〕 ・「令和4年度宇都宮市総合防災訓練避難所開設・運営訓練」について
・「内水ハザードマップの公表」について



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■共助の仕組みの強化

○具体的な取組

自助、共助を目指した自主防災組織の充実

【具体事例】 ○防災士、区長向けのフォローアップ研修の実施

さくら市

- ・日時 令和4年7月15日
- ・講師 宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 近藤 伸也 氏
- ・参加者 約40名

さくら市防災フォローアップ研修

**災害時における
状況認識～情報収集→行動**

2022/07/15

宇都宮大学地域デザイン科学部
近藤伸也

Shinya
Kondo 宇都宮大学



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■共助の仕組み強化

○具体的な取組

地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取り組み実施

【具体事例】

○高齢者支援課と連携した避難所設営体験等を実施

塩谷町

・高齢者支援課と連携し、地域づくり勉強会において防災士も交えながら、避難所設営体験等を実施した。

・令和4年9月20日実施



2)ソフト対策の主な取組②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○ 具体的な取組

水防団等が参加する洪水・土砂災害に対しリスクが高い区間の共同点検

【取組事例】

○町内重要水防箇所点検の実施

茂木町

■実施日：令和4年5月17日（火）

■会 場：茂木町内

・常陸河川国道事務所、茂木町、消防茂木分署ほか関係機関が参加



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

水防団等が参加する洪水・土砂災害に対しリスクが高い区間の共同点検

【具体事例】

○町内重要水防箇所点検等を実施

塩谷町

- ・日 時 令和4年5月24日
- ・場 所 県管理河川等
- ・参加者 県(土木事務所)、消防署、消防団、建設業協会、町



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

水防団等が参加する洪水・土砂災害に対しリスクが高い区間の共同点検

【具体事例】

○県管理河川について、出水期前に関係自治体、消防等と連携し、重要水防箇所での点検を実施

栃木県



①真岡土木の点検状況(5/23)
一級河川五行川(真岡市大和田)



⑥日光土木の点検状況(5/24)
一級河川古大谷川(日光市川室)



③安足土木の点検状況(5/25)
一級河川蓮台寺川(足利市五十部町)



②鹿沼土木の点検状況(5/26)
一級河川思川(鹿沼市口栗野)



⑤矢板土木の点検状況(5/26)
一級河川五行川(さくら市氏家)



④大田原土木の点検状況(5/30)
一級河川押川(大田原市須賀川)

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防止訓練の検討・実施

【取組事例】

○水防訓練の実施

宇都宮市

- ・消防団員の士気高揚，水防技術の向上を図るとともに，水防体制に万全を期す目的で令和4年7月9日（土）に水防訓練を実施した。
- ・新型コロナウイルスによる感染症拡大状況を考慮し，訓練参加隊員数を減らした上で，実施工法と展示パネルを用いた説明を行い，実践的な訓練による技術の伝承を図った。なお，昨年同様に来賓の招待及び市民の見学等は見送ることとした。



【積土のう工法】



【簡易水防工法（住宅への侵入防止）】

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防災訓練等の検討・実施

【具体事例】

○水防訓練の実施

足利市

水防演習を4年ぶりに実施し、水防法第32条の2に基づく水防訓練を行った。

- ・開催日 令和4年7月3日(日)
- ・実施場所 渡良瀬川左岸 渡良瀬運動場
- ・参加人員 市職員・消防職員・消防団ほか 計359名



【積土のう工法】



【大型土のう設置訓練】

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防災訓練等の検討・実施

【具体事例】

栃木市

○栃木県・栃木市総合防災訓練を実施

■実施日：令和4年12月11日（日）

■会場：栃木市総合運動公園

・東日本大震災及び令和元年東日本台風等の教訓等を踏まえ、実践的かつ効果的な訓練を行い、防災関係機関の連携による災害発生時の様々な被害への応急対応力や広域的な対応力等を検証するとともに、住民の防災意識の高揚と知識の向上を図った。

参加人数：訓練参加者 約1,000名、一般観覧者 約1,000名

中州救助訓練



消防団による一斉放水訓練



2)ソフト対策の主な取組②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防災訓練等の検討・実施

【具体事例】

○大雨による土砂災害を想定した避難訓練の実施

佐野市

■日時 : 令和4年6月26日

■訓練参加者 : 危機管理課、消防本部、市民活動促進課、飛駒地区の各町会住民、防災士

■対象地区 : 飛駒地区

■訓練会場 : 旧飛駒小学校

■主な訓練内容

- ・避難に関する情報伝達訓練
- ・避難所開設及び運営に関する訓練
- ・自宅から避難所への避難訓練
- ・防災講話、AED講習等



避難者の受付



避難所用テントの設営

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防災訓練等の検討・実施

【具体事例】

○水防訓練の実施

小山市

・集中豪雨や台風などの風水害に備えるため、防災関係機関及び地域住民と緊密な連携、出水時における協力体制の確立、水防工法の技術向上、情報伝達体制の強化を図ることを目的として令和4年9月3日（土）に石ノ上河川広場で実施した。

【参加団体18団体、参加人員350名】



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防災訓練等の検討・実施

【具体事例】

○令和4年度夏季点検として無線伝達訓練を実施

日程：令和4年 6月26日(土)

参加者：消防団員88名、消防総務課5名

小山市



訓練風景【本部団員】



台風15号に伴う活動

令和4年9月24日(土)台風15号による活動時には、消防本部と連携し、円滑な無線運用ができました。

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防災訓練等の検討・実施

【具体事例】

○地域住民を対象とした土砂災害防災避難訓練の実施

真岡市

土砂災害警戒区域が指定されている三谷地区を対象に、消防本部や消防団と合同で避難訓練を実施し、警戒避難体制の強化と住民の防災意識の高揚を図った。

- ◆実施日時:令和4年6月19日(日)午前9時<避難開始>
- ◆避難場所:三谷農村広場(真岡市三谷221番1)
- ◆参加協力:三谷地区56世帯
芳賀地区広域行政事務組合消防本部・真岡消防署
真岡警察署
真岡市消防団(本部・第6分団第3部)
真岡市民生委員児童委員協議会 計91名
- ◆実施内容:
 - ・真岡市災害対策本部の設置・避難所開設想定訓練
 - ・地域住民への避難指示(防災無線)
 - ・警察、消防団による避難誘導
 - ・民生員による要配慮者の安否確認
 - ・情報伝達訓練(区長から避難者数を本部へ報告)
 - ・消防署による講話、消火訓練、搬送訓練



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防止訓練等の検討・実施

【具体事例】

○自主防災組織の設立、活動支援補助金

さくら市

・防災資機材等整備補助金
最大50万円、1地区1回限り(補助率100/100)

・自主防災組織運営事業補助金
最大3万円、各年度1回、(補助率100/100)



資器材購入

氏家新田自主防災訓練 事業報告

2022. 11. 18

1. 実施日 令和4年11月13日 9時～11時30分
2. 訓練内容 黄色いハンカチ作戦での安否確認&避難訓練
3. 参加人数 61名

9:00分 公民館に避難所開設



9:30分 訓練開始



消防自動車で大地震警報発令

9:40分 黄色いハンカチ掲示



事前にカード配布

9:45分 避難開始



避難誘導員が交通整理

10:15分 避難者確認



10:00分 安否確認報告



安否確認シートで、各班ごとに、
会長へ報告

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防止訓練等の検討・実施

【具体事例】

○消防団による水防訓練を実施

下野市

・台風・大雨等による大洪水時に迅速、的確に対応できるよう、市消防団による水防訓練を実施した。

実施日：令和4年6月12日（日）

訓練内容：土のう作成訓練、ロープ結索訓練、無線通信訓練、シート張り工法（河川の浸食を防ぐための水防工法）訓練



シート張り工法訓練



土のう作成訓練

2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための水防土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

関係機関が連携した実働水防訓練・土砂災害防止訓練等の検討・実施

【具体事例】 ○栃木県・那須町防災図上総合訓練の実施

那須町

- 【訓練の概要】
1. 開催日時: 令和4年8月3日 9時00分～12時00分
 2. 開催機関: 那須町、栃木県、那須塩原警察署、陸上自衛隊第12特科隊、那須地区消防本部、那須町消防団、芦野地区自治会
 3. 訓練参加者: 約150人
 4. 主な訓練内容
 - ・図上訓練(状況付与型シミュレーション訓練)
 - ・避難所設営訓練、避難訓練、水防訓練
 5. 訓練で工夫した点: 実践的な訓練
 6. 訓練により判明した課題: 関係機関との調整



避難所設営訓練



水防訓練



図上訓練(状況付与型シミュレーション訓練)

2)ソフト対策の主な取組②洪水氾濫や土砂災害による被害の軽減、避難時間確保のための水防・土砂災害防止活動の取組

■より効果的な水防活動や土砂災害防止活動の実施及び水防体制の強化

○具体的な取組

排水ポンプ車操作訓練の実施

【具体事例】

○排水ポンプ車操作訓練を実施

栃木県

- ・災害発生時に迅速かつ的確な排水作業を行う目的で、栃木県排水ポンプ車の操作研修を兼ねた訓練を、栃木県建設業協会等と連携し実施した。
今後、毎年出水期前に訓練を実施する。



【排水ポンプ車全景】



【排水操作訓練実施状況】

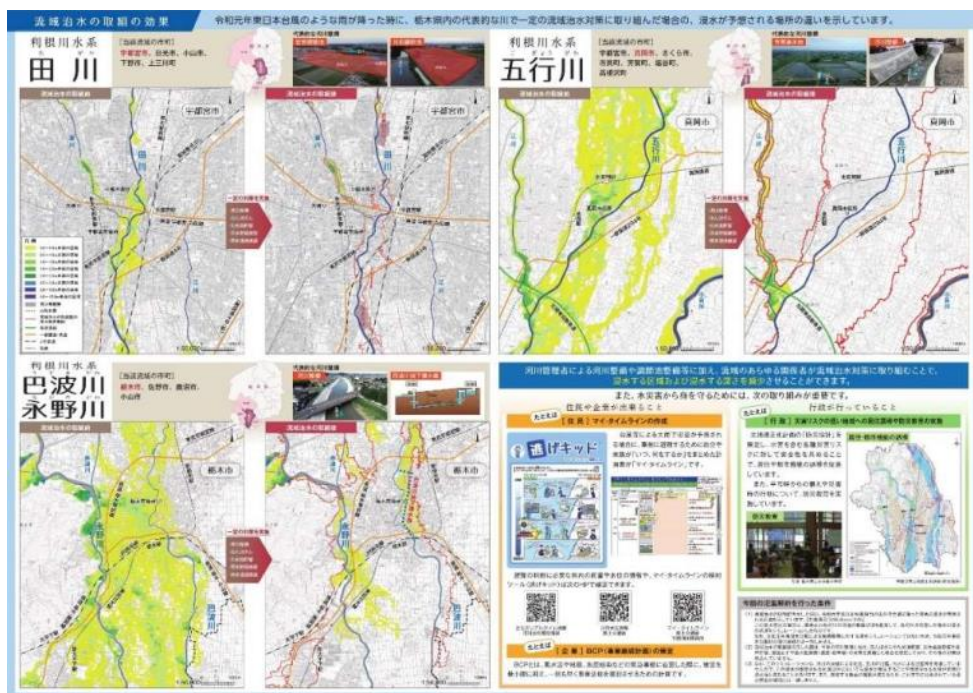
流域治水普及啓発資料の作成

■ 流域治水の取組効果を示すリーフレット及び動画の作成

【具体事例】

栃木県

1. 県内の代表的な河川において氾濫解析を実施し、流域治水の取組効果を示すリーフレットを作成した。



2. 流域治水の必要性を伝えるとともに、流域治水対策の主な取組内容を集めた動画を作成した。



一般向
田んぼダムの
取組紹介



学習版
各戸貯留
の取組紹介



【流域治水について】
栃木県河川課HP